

佐貫さん久遠塾講師に

白糠「将来の選択肢広げたい」

【白糠】白糠高校の生徒を対象にした公営塾「久遠塾」に8月、講師として町出身の佐貫恭介さん（26）が着任し、生徒の学習をサポートしている。

佐貫さんは釧路江南高

校、北海学園大学法学部法律学科を経て、札幌市消防局に入局。南消防署に勤務し、スキー中に滑落した人の元へスノーモービルで駆け付けたり、打ち上げ花火に起因する山火事に出動し

たりと、災害現場で活躍してきた。

幼い頃に母親を亡くし、父親と暮らしている祖母が肺がんの手術を受け、長男として家族の面倒を見る必要があったことから、今年6月末に退職し、白糠の実家へ戻った。久遠塾の存在を知って興味を持ち講師に応募した。主な担当教科は現代文を中心とした国語。

「白糠の人口が減っているのを目の当たりにすると寂しい。自分の経験や知識を生徒に伝え、将来の選択肢を広げていきたい」と意気込む。「先輩の背中を見た後輩が続くことで、白糠高生の増加にもつながれば」と話している。任期は来年3月31日まで。

（水谷友路）

講師としての道を歩み始めた佐貫さん

